



やまだ

議会だより

シリーズ 家族の笑顔

柳沢地区在住の甲斐谷さん家族。
町への提言、思いを伺いました。
(関連記事P20)



No. 167

2020. 5. 1発行
岩手県山田町議会

3 月
定例会

町内保育園・幼稚園

保育料無償へー 2 P

令和2 年度予算

町のお金どう使うー 4 P

町の考えは (8 人が一般質問)ー 10P

町内 保育園・幼稚園 保育料無償へ

3月
定例会の
あらまし

令和2年3月定例会が2月13日から3月13日まで30日間にわたって開かれました。初日には、町長施政方針演説などが行われました。

また、町長提案の議案30件を審議し、全て原案のとおり可決しました。(2頁3ページ)

2年度の一般会計、特別会計などの予算

8件は、予算特別委員会を設置し、3月9日、12日、13日の3日間にわたって集中審議し、全て原案のとおり可決しました。(4頁9ページ)

一般質問では8人の議員が登壇し、活発な議論が行われました。(10頁18ページ)

定例会の議案審議や一般質問での質疑全文を記録した会議録は、6月下旬ころから、議会ホームページ、町立図書館で閲覧可能となる予定です。



町 独自の支援策として

令和2年4月から保育園等を利用する0歳から2歳児の保育料を無償化することに伴い「山田町保育園設置条例」および「山田町子どもための教育・保育給付に係る条例」の一部改正、「山田町立幼稚園保育料徴収条例」を廃止する議案が提案され、全員賛成で可決しました。

■条例の概要

▽山田町保育園設置条例の一部改正

保育料の負担について就学前児童に対する保育料が無償化となることから令和2年4月以降の滞納分の督促手数料や延滞金がなくなるため条例を一部改正しました。

▽山田町子どもための教育・保育給付に係る利用者負担額に関する条例の一部改正

災害等による利用者負担額の減免についての条文は削除されました。

▽山田町立幼稚園保育料徴収条例の廃止

山田町立幼稚園保育料の徴収がなくなることから廃止されました。

【質疑応答】

問 これまでの保育料を滞納している場合、その分は徴収するのか。

濱登健康子ども課長 施行前の滞納分については徴収する。

問 徴収するに当たってどのような対策があるか。

健康子ども課長 これまでもその都度督促状を出し、徴収に努めてきた。さらに滞納になる家庭には児童手当から同意を得て徴収してきた。

定例会 主な議決議案の内容

定例会で議決した主な議案の概要をお知らせします。どの議案も原案のとおり可決しました。

■観光船の指定管理者指定

観光船「海童丸」の指定管理者と指定期間が提案され原案のとおり可決しました。

▽指定管理者

一般社団法人山田町観光協会

▽指定期間

2年4月1日から5年3月31日まで

■山田町森林環境整備基金を設置

森林整備およびその促進に関する事業を実施することを目的に、国から交付される森林環境譲与税を適正に管理、運用するため設置しました。

■山田町公共下水道前須賀中継ポンプ場建設工事委託協定締結へ

山田町公共下水道前須賀中継ポンプ場は台風19号により施設が被災し、機能不全となりました。この回復を図るため復旧事業に係る建設工事委託に関する協定を締結しました。

第1回臨時会

1月29日開催

第1回臨時会が、1月29日に開かれました。

町長提案の条例1件、補正予算2件など合計4件を審議し、全て原案のとおり可決しました。

埋蔵文化財

収蔵庫建設

可決

東 日本大震災からの復興事業に伴う開発により出土した埋蔵文化財を適切に保存管理するために、埋蔵文化財収蔵庫建設工事の請負契約の議案が提案され全員賛成で可決しました。

■山田町立埋蔵文化財収蔵庫建設工事の概要

▽建設予定場所
旧山田消防署敷地内

▽延床面積
569・60平方メートル

▽構造
鉄骨平屋建て

▽工期
2年1月31日
～2年11月2日

▽請負契約金額
1億7820万円

▽受注者
佐々勇建設株式会社
(宮古市)

【質疑応答】

問 町民の学びを推進するためのスペースはあるか。

後藤生涯学習課長 復興

交付金の事業で発掘された埋蔵文化財を保管する施設であり、展示する場所としては認められていない。中央公民館、鯨館等で企画展を開催するなど町民の皆様に見てもらえるような機会は別につくりたい。

問 建設するに当たり場所の選定はどうしたか。

生涯学習課長 埋蔵文化

財収蔵庫建設に当たり面積が取れる場所として数カ所の候補地があった。現在大沢で建設中の防潮堤が完成することをもとに協議し、また、文化財保管科学を専門とした大学教授からも収蔵庫の環境について指導を受け、この場所に決定した。



埋蔵文化財収蔵庫建設予定地

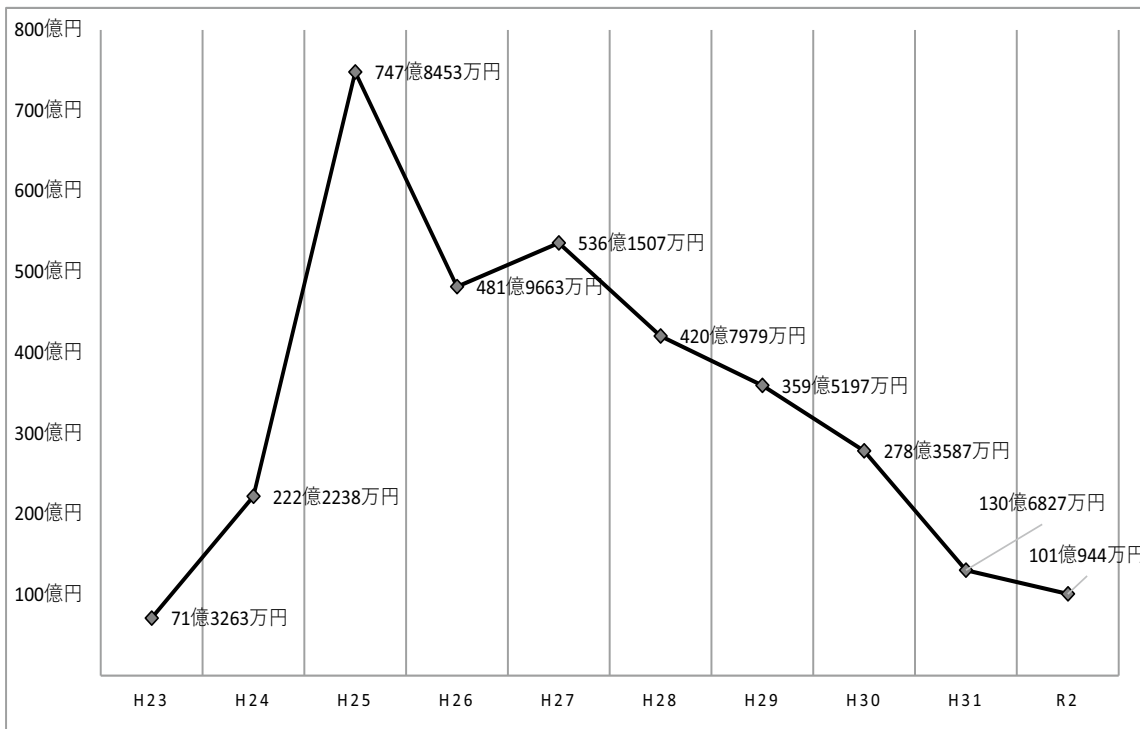
限られた 財源を生かして 町民を支える

予算特別委員会の

あらまし

予算特別委員会は、新年度で執行される予算が適正なものであるかを確認するため、全ての課が所管する予算について審議をします。2年度予算については、予算特別委員会を設置して3月9日、12日、13日の3日間で審議しました。一般会計では、歳入歳出それぞれ101億944万円となり、前年度当初予算との比較では、29億5883万、率にすると22・6%の減となりました。復興・復興が進んだことで、事業費が減少したことが主な理由として挙げられます。

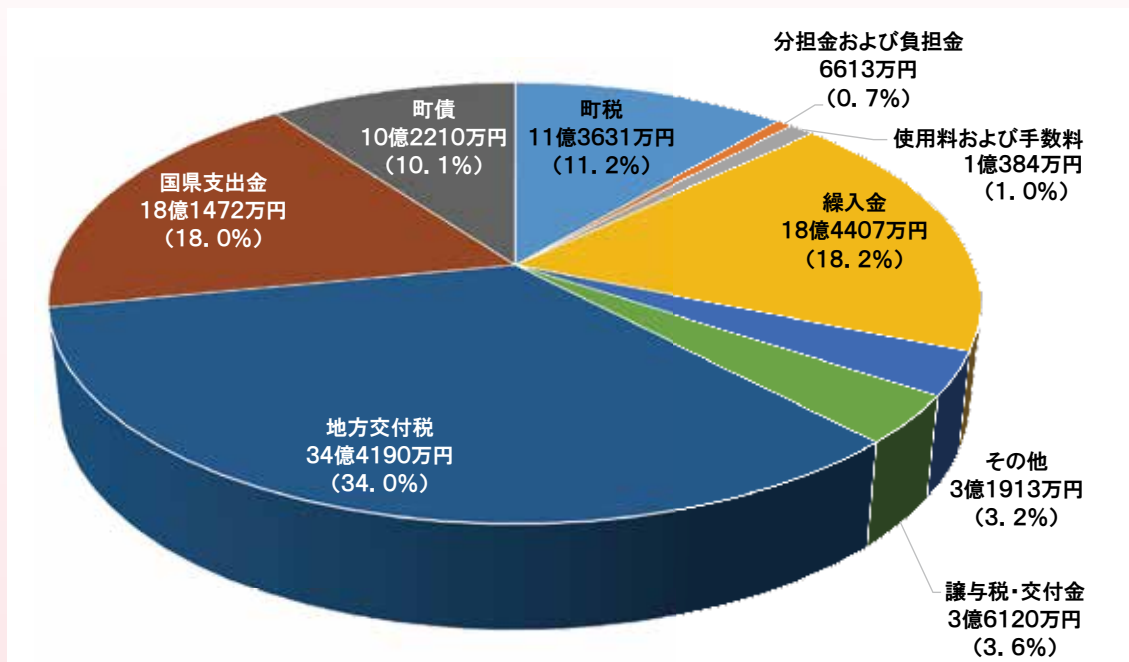
グラフで見る一般会計予算額の推移



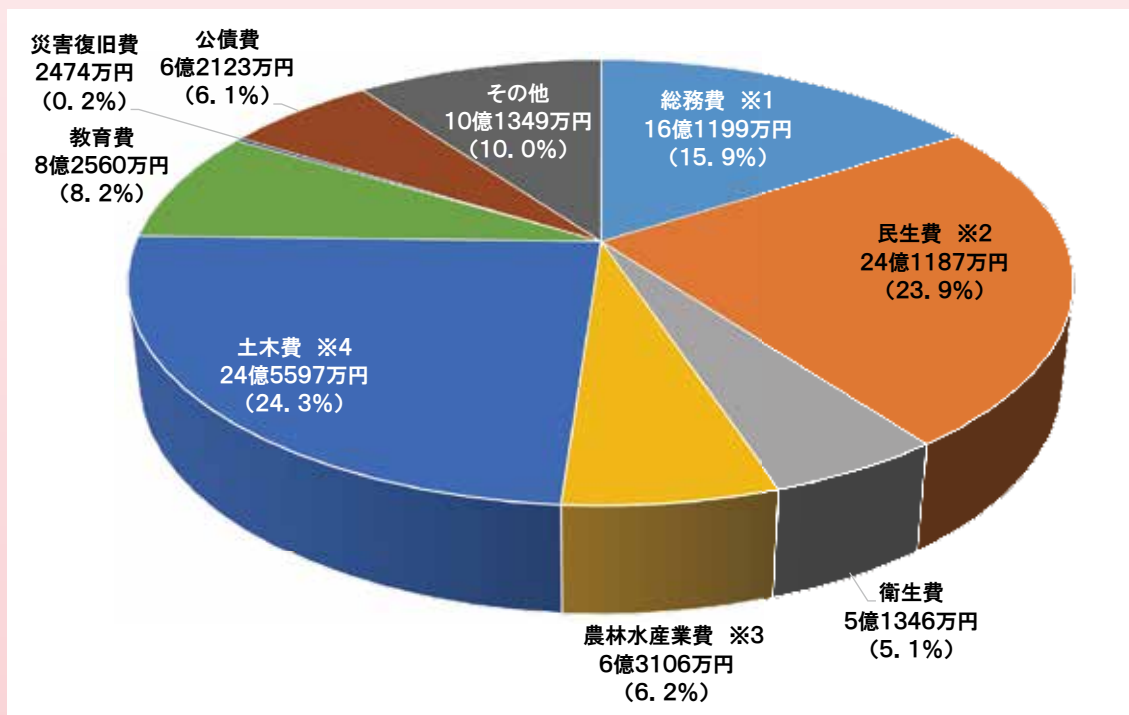
一般会計当初予算総額 101億944万円

※1万円未満は切り捨てているため、合計などが一致しないところがあります。

歳入《入ってくるお金》 101億944万円



歳出《使うお金》 101億944万円



財政用語解説

歳出の円グラフと対応しています

- ※1 総務費…一般事務や復興事業に使われる経費
- ※2 民生費…福祉の向上のために使われる経費
- ※3 農林水産業費…農業や水産業の振興に使われる経費
- ※4 土木費…道路の整備や区画整理事業などに使われる経費

新年度予算 目玉事業を ピックアップ



まちなか循環バス運行事業

陸中山田駅を中心に、町内を8の字で循環するバスの試験運行を開始します。本格運行に向け改善点を整理しながら進めていきます。



保育料無償化事業

国では3歳児から5歳児までの保育料が無償化となりましたが、町では0歳児から2歳児までの保育料も無償化となります。



織笠漁港海岸保全施設 展望広場整備事業

防潮堤の復旧整備により、国道沿いから山田湾を眺める場所が少なくなったことから整備するもの。ベンチや展望デッキを設置する計画としています。



移住定住促進事業

移住者の住居を確保し、町内への移住及び定住の促進を図るため、空き家バンクの開設、移住した方が使用する住宅のリフォーム費用に対して補助を行います。

予算を チェック

委員会での
審査の概要を
お伝えします。

子育て支援事業

事業内容は

問 地域子育て支援拠点事業補助金の対象となる施設や事業内容は。
健康子ども課 補助対象となる施設は、織笠保育園で実施している山田町地域子育て支援センターであり、事業内容としては、未就学児とその保護者の交流や育児相談など

を行っている。
問 実家に里帰りした保護者が子どもの一時的保育を希望した場合、対応できる施設があるか。
健康子ども課 町内の保育施設で一時預かりを実施している。

地域公共交通

各地域との路線接続は

問 まちなか循環バスは今後各地域との路線の接続をする予定か。
復興企画課 国の路線バスに対する補助制度が令和2年度を目途に終了することとなっております、路

線バスの運行を見直した結果によって交通空白地が生じる可能性もある。補助制度終了後の交通空白地への対策を講じていきたい。



各地域との路線の接続が望まれるまちなか循環バス

漁業者支援事業

補助金の目的と対象は

問 漁獲物品質向上支援事業費補助金の使用目的と対象は。
水産商工課 養殖物の品質向上、水産物の衛生管理の向上のため、漁業者

の設備導入に対する費用の2分の1、限度額20万円を補助するもの。沖洗い機や温湯処理釜等が対象となっている。

マイナンバーカード

交付状況は

問 個人番号カード交付事業補助金が大幅な増になっているが、いつまでに完遂する見込みか。また当町における交付状況は。
町民課 戸籍のマイナンバー化を2年度の事業として行う。交付状況は2月末現在で1917件。率にすると12・5％となっている。

問 当町での交付件数が少ない。多くの住民に申請してもらうためにどうPRしていくか。
町民課 ポスター作製やチラシの配布を検討している。また、本庁舎だけでなく支所でも申請できるようにしていく。

予算を チェック



委員会での
審査の概要を
お伝えします。

観光船海童丸

安全確保は

問 観光船海童丸は、子どもたちの学習でも使用が見込まれている。日よけ対策として屋根の設置や、安全面の確保をどう考えているか。

水産商工課

安全対策と

して2名以上の運航者を乗船させることを義務付ける予定である。屋根の設置については現時点で予定していないが、今後指定管理者と協議の上、検討していく。



子どもたちの学習でも使用が見込まれる海童丸

橋りよう補修

工事期間は

問 道路橋りよう費での繋橋の補修工事はどの程度の期間を見込んでいるのか。

建設課

繋橋の補修工事は、大規模修繕・改修補

助事業費国庫補助金を受けて実施する。1年目以下部工の補修、2年目に上部工、高欄、舗装の補修を計画している。

防災行政無線受信機

いつまでに設置予定か

問 防災行政無線戸別受信機設置工事について、台風の時期までに設置を希望するが、どのような予定となっているか。

総務課

戸別受信機の製造に日数を要することや

設置に当たり現地調査を行わなければならないことから、出水期までには厳しいものがあると思うが、早急に対応していきたい。

台風被害河川

しゅんせつする箇所は

問 県の管理ではあると思うが、台風被害で土砂が溜まった河川のうち、早急にしゅんせつすべき場所はどこか。また水位計の設置をどう考えているか。

建設課

県が管理する2級河川のうち令和元年度から掘削等行う河川は、織笠川と、織笠川と白石川の合流部分の2カ所となっている。また、県で

は危機管理型水位計の設置を30年度から進めている。設置場所は、馬指野川、織笠川、大沢川、津軽石川、荒川川の5つの河川の橋りよう部分である。

要望

水位計設置を進めることで越水等の危険度が分かる。人家の近くにある河川への設置を県と協議しながら進めていきたい。



橋りように設置された水位計

緊急通報整備事業

どのような事業か

問 緊急通報体制等整備事業委託料の詳細は。

長寿福祉課 おおむね65

歳以上の一人暮らし高齢者世帯などで日常生活に支援を要する方へ緊急通報装置を貸与している。具体的には電話回線に接続されている機器を使用し、コールセンターとつ

ながる仕組み。現在3名が利用している。

問 利用実績はあるか。

長寿福祉課 緊急的な利

用実績はない。しかし、コールセンターの方から近況についての問い合わせがあるため定期的な利用がある。

スクールバス活用

学童やスポ少での利用は

問 スポーツ少年団の活動利用時にスクールバスは利用できるか。統合・再編するため、検討すべきではないか。

学校教育課 財源確保が必要であることから、関係課と協議の上、検討していく。

問 学区がなくなることから、放課後児童クラブでもスクールバスの運行を検討すべきではないか。

学校教育課 統合後に生じる子どもたちの活動制限や足の確保への対策を早急に検討していく。

コンビニ交付

取り扱い件数は

問 戸籍関係や税務証明書関係の手数料収入のうち、コンビニでの取扱件数は。

町民課 コンビニ交付は

1月20日から開始し、2カ月間で39件の利用があった。

問 コンビニ交付での利用件数、金額の目標は。

町民課 どのくらいの利用を見込むかは今後考えていかなくはならない。

ポスター掲示による周知を行い、利用促進を図っていききたい。

討論

《一般会計予算》

賛成



菊地光明議員

復興完遂に向け
力強い予算

反対



木村洋子議員

町内全ての学校
にエアコン設置
を

賛成



横田龍寿議員

保育料無償化の
予算

2年度の一般会計予算については、総額約101億円超の事業費で復興完遂に向けた力強い予算である。その中においても将来の当町を見据えた新しい道の駅建設関係予算を計上するなど、町長の、町民の先頭に立って町の舵取りを進めていくという力強いリーダーシップが感じられる予算であり賛成する。

学校のエアコン設置に納得がいけない。県内のほとんどの小中学校では国の補助を活用し、教室にエアコン設置を進めている。児童生徒が、気持ちよく学習に打ち込めるよう町内全ての学校に早期に設置してほしい。エアコン整備のための予算がなされていないため反対とする。

2年度の一般会計予算に0歳から2歳児の保育料無償化に係る予算が計上されている。宮古市、大槌町は以前2人目以降の保育料が無償であり、その財源をスライドさせて対応した。対して当町は従前3人目以降の保育料が無償であり新たな財政負担をして対応するものである。町長の英断、努力に感謝し賛成する。

～町政を問う～

一般質問 8人登壇

3月定例会では、3月3日から4日の2日間にわたり、8人の議員が57件の一般質問をし、活発な議論が展開されました。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについて所信を聞き、報告や説明を求め疑問点をたずねることです。議員の質問時間は1人25分以内で、町側の答弁時間は含みません。

紙面の都合上、掲載できなかった一般質問は、6月下旬ころから議会ホームページ、図書館で閲覧可能となる予定です。

質問議員 (質問順)	質 問 事 項	掲載 ページ
坂本 正	○復旧について ○水産業の振興について ○災害について ○町長選挙について	11
関 清貴	○東日本大震災の記憶の伝承について ○農業の振興について ○小学校建設について ○県立高校の存続について ○漁業振興について ○観光について ○中学校の環境について	12
昆 清	○公共交通計画について ○防集団地について ○街灯関係について ○執行部体制について ○新型コロナウイルス対策について ○介護保険について ○住宅用防災無線普及について ○水産業について ○民生委員について	13
佐藤 克典	○交通網の整備について ○閉校後の学校施設の活用計画について ○農林業の振興について ○災害復旧について ○移住定住支援について	14
木村 洋子	○新型コロナウイルス対策について ○就学援助について ○台風19号被害について ○防災対策について ○学校のエアコン設置について	15
黒沢 一成	○台風19号被害の復旧について ○自衛官募集のための名簿提出について ○沈下した地盤の隆起について ○織笠防潮堤について ○下水道接続工事の補助について ○公共交通について ○広報看板の設置について ○オランダ島について	16
横田 龍寿	○今後の移住定住支援および空き家等の対策について ○農林漁業の振興について ○学校給食センターの食材の地産地消について ○町民のオリンピック・パラリンピック体験について ○子どもの貧困について ○新型コロナウイルスに関して町内事業者が受ける影響について ○公用車のバックカメラおよびドライブレコーダーの設置状況について	17
菊地 光明	○当初予算について ○水産業について ○高齢化率について ○善幸記念館について ○交通網について ○漁港整備について ○検証委員会と道路整備について ○集会所について ○地域福祉について ○地域おこし協力隊について ○上水道について ○教育行政について	18



議員 坂本 正
(新 生 会)

三選出馬は

3期目に挑戦したい

問 今年、町長選挙の年だが、町長はまだ明確な態度を示していない。いつになったら態度を示すのか。

佐藤町長 町長に就任し2期8年の歳月が経過しようとしている。この間、東日本大震災からの復興という大きな課題のほかにも多くの困難があった。昨年10月に発生した台風19号災害からの復旧は新たな課題である。また、新道の駅の整備や山田小学校の校舎の新設等、課題は山積している。これらの課題の解決のため3期目に挑戦したいと考えている。今後とも町民ならびに議員の皆さまのご理解とご協力をお願い

する。

要望 町長の力強い表明に感謝している。我々新生会は全員応援するのでこれからも力強いリーダーシップをお願いする。

検証委員会の結果は

元年度末までに報告

問 田の浜地区防災緑地公園については、19号水害検証委員会からの提言や地元自治会からの要望を踏まえながら早期整備に努めるとのことだが、検証委員会から結果が出てくるのはいつごろか。

町長 田の浜地区防災緑地公園については、現在「田の浜地区台風第19号水害検証委員会」による検証作業が行われている段階であり、結果については、防災緑地の復旧に関する提言を含め、元年度末までに報告をもらう予定となっている。



元年度末に検証結果の報告があった緑地公園

復興の総仕上げは

全力で早期完了を

問 令和2年度は復興まちづくりの指針である、山田町復興計画の最終年度という一区切りを迎えることとなり、復興の総仕上げに向けて残る事業に全力を挙げて取り組ん

でいくとのことだが、どう行うのか。

町長 東日本大震災からの復興事業については、新たな宅地の整備と災害公営住宅の建設を最優先事業として進め、コンパクトで利便性の高い中心市街地の形成、命をつなぐ道路整備事業などに取り組んできた。残る事業は、織笠跡浜地区ならびに大浦地区の低地部整備、防災力向上を図る津波避難看板や津波浸水区域表示板の設置など、県事業が防潮堤・河川水門工事となる。1日でも早い完了に向けて全力を尽くしていく。

その他の質問

◆新たな養殖は

大震災記憶伝承の場は 新たな施設整備の考えはない



議員 清 貴 関
(政 和 会)

問 東日本大震災追悼式はどのように続けるか。国に対し継続開催を要望するのか。

佐藤町長 今後の追悼式は遺族、被災された方々の声を聞き検討したい。政府主催の追悼式は県、近隣市町村の動向により対応していく。

問 津波伝承施設を整備し、支援してくれた方々に被災当時を伝える場としてはどうか。

町長 新たな伝承施設を整備する考えはない。「まちなか交流センター」に充実した展示の準備を進めている。

山田高校の存続支援は

継続して支援する

問 震災後、山田の高校生は郷土を思う気持ちがより強くなり、防災教育、地域貢献、地域活性化において活躍している。県の公立高校の後期

再編計画以降も存続させるために魅力ある学校としなければと思う。そのためには関係団体等と協働しなければと考えるが、高校存続に向けての

町づくりにおける 山田魚市場の位置付けは

漁業を支える拠点

問 山田魚市場の水揚げの減少は存亡の危機であり漁業の町として魚市場をどのような位置付けで町づくりを進めるか。

町長 前浜の水産物を通じて漁業者と消費者をつなぐ役割を担っており、本町の漁業を支える拠点として捉えている。

問 早い段階で決算状況を予測し、関係機関と連携し、対応しては。
甲斐谷副町長 決算結果を把握してから。
問 マリン・ツーリズム

町長 仮設施設であり令和2年度に助成制度が終了することから解体する。「かき小屋」で継続できるか観光協会で検討中。

町の支援策は。佐々木教育長 教育課程では学びの充実が図られるよう支援し、部活動は東北大会以上への旅費等の支援を継続する。また「山田高校を支える会」が行う取り組みも引き続き応援する。

問 小学校新校舎の建設場所は何年後をめどに決めるか。
教育長 令和2年度の決定に努める。
問 候補地は何力所か。
副町長 公表できる段階ではない。



勉学に、地域貢献に、人材育成の学び舎の山田高校

その他の質問

- ◆ 津波の潮位の表示は
- ◆ 新たな養殖種目の検討は
- ◆ 農家所得向上の作物は
- ◆ 中学校のグラウンド使用は



議員 昆 清 (新 生 会)

公共交通計画は

町民の意見を取り入れた計画

問 当町の公共交通計画はどうなっているのか。住民の意見を取り入れた計画になっているのか。また、循環バスの計画はあるのか。

佐藤町長 山田町地域公共交通網形成計画は、住民アンケート調査や住民懇談会の実施を通して策定しており、住民の意見を取り入れた計画であると考えている。循環バスの計画については、柳沢地区から織笠地区まで、国道45号と町道細浦・柳沢線などの路線を經由し、陸中山田駅を中心に「8の字」で循環する運行を考えている。停留所は、利用者の利便性を考慮し、19カ所に設置、料金は1回の利用で200円を考えている。



循環バスの起点となる陸中山田駅付近

その他の質問

- ◆ 老々介護の現状は
- ◆ 空き地対策の取り組みは
- ◆ 街灯の設置状況は
- ◆ サケの不漁対策は
- ◆ 執行部体制は
- ◆ 民生委員の役割は
- ◆ コロナウイルス対策は

介護保険料の減額は

軽減措置を講じている

問 町内の高齢者の皆さまから介護保険料が高いと聞いている。保険料の減額はできないのか。

町長 介護保険料の減額についてだが、令和元年

度から、住民税非課税世帯の保険料負担を軽減するため、第1段階から第3段階までの介護保険料を引き下げる軽減措置を講じている。

戸別受信機の貸し出しは

100台を要望している

問 住宅用防災無線について、総務省、消防庁は、災害時に避難情報を伝える防災行政無線を住宅内に設置する戸別受信機を約1万台、無償貸し出しする事業を始めるそうだが、町の考えは。

機の整備を進めようとしていることから、令和2年度に100台を要望している。

町長 戸別受信機の無償貸し出し事業は、消防庁の「戸別受信機配備促進事業」で実施されるもので、昨年末に希望調査があり、本町では戸別受信

問 戸別受信機を設置する場所は、どの地区のどの場所を予定しているのか。

甲斐谷総務課長 設置場所については、各地区でそれぞれに問題はあるが、まずは各地区で調査の上、難聴地区から始めたいと考えている。

山田北IC

フル化への要望活動の具体は

課題や必要性の整理を進め、
効果的なタイミングで要望を行なう



佐藤 克典 議員
(政 和 会)

問 三陸沿岸道路山田北インターのフル化については、岩手県三陸沿岸道路整備促進期成同盟会などとともに実現に向けて要望していくとのことであつたが、この一年間、どのような要望活動を行ってきたのか。地域住民の「フルインター化」の実現への願いが、どの程度まで三陸国道事務所に伝わっているのか。また、今後の要望活動の具体について伺う。

佐藤町長

山田北インターのフル化については、元年度においても三陸国道事務所及び宮古市との打合せを通じ、全線開通後の重要な取り組み課題であることを確認しており、今後の早期整備に必要な道路関連予算確

保等に関し、要望活動を行ってきた。三陸沿岸道路は2年度末までに全線開通となる見通しであることから、「フルインター

災害査定で改良復旧が認められた箇所数は

道路10カ所、河川8カ所である

問 昨年10月に襲来した台風19号による大雨は、甚大な被害をもたらした。地球温暖化の影響により、50年確率の災害が、今や数年ごとに襲来しているといつても過言

ではなく、従前の原形復旧では対応できない状況である。昨年末から今年始めにかけて、国による災害査定が実施されたと思うが、機能強化いわゆる改良復旧が認められた道路、河川の箇所数はどれくらいあるのか伺う。

町長 国の災害復旧事業は被災施設の原形復旧を目的とした事業だが、災害申請においては、機能強化の視点から可能な範

囲で工法等を検討し、復旧内容の充実に努めているところであり、その中で機能強化が認められた箇所は道路が10カ所、河川が8カ所である。

問 荒川の馬鞍地区の道路の損壊は改良復旧が認められたのか。

建設課長

町道福士線の馬鞍地区の道路の損壊については、従前は土破であつたがこれをコンクリート砕工とし、それと山からの横断排水が大きな原因となつているが、既設の横断管を撤去して2倍の大きさの排水路を設置する。これにより機能強化が図られるものと思つている。

繫橋補修工事にあつた
の通行スペースは

歩行者の通行スペースは
確保する

問 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、繫橋の補修工事を実施するとのことだが、工事期間はどの程度見込んでいるのか。工事施工に当たっては人の歩ける広さを確保して工事を進めるのか伺う。

町長 繫橋の補修工事について施工期間は2カ年を予定している。幅員は5メートルと狭いことから、施工中は安全性を考慮し、車両は全面通行止めとするが、歩行者用の通行スペースは確保したいと考えている。



長寿命化修繕計画に基づき補修する繫橋

その他の質問

◆閉校後の学校施設の活用計画について地域の意見を聞く場を設けるべきではないか



木村 洋子 議員
(日本共産党)

新型コロナウイルス対策は 情報収集と情報発信に努める

問 国内で新型コロナウイルス感染症が相次いで報告されているが、対策はどうなっているか。震災後は特に独り暮らしの高齢者世帯が増えているが、孤立化・重症化が懸念される災害公営住宅においては、コミュニティの確立が十分とは言えない状況がある。高齢者や町民の不安を軽減するため対策が必要では。

佐藤町長 関係課の役割について確認するとともに、情報の収集と広報やホームページ、チラシによる感染症予防啓発と防止策を行っている。災害公営住宅の入居者や高齢世帯については、関係機関と連携し、訪問時にチラシの説明をしながら、感染予防や不安の軽減に努めている。

台風19号被害 復旧状況と支援策は

被災者に寄り添った 支援に努める

問 田の浜地区の住宅の復旧状況と支援策は。

町長 2月19日現在、災害救助法による応急修理の対象世帯は58世帯で、うち44世帯が補助を申請している。応急修理以外

では、新築予定5世帯、災害公営住宅希望が2世帯である。

問 再建未定の世帯は。芳賀建築住宅課長 3世帯である。

問 引っ越し費用の5万円は直接世帯へ支給と

就学支援

震災被災者対応分は 延長すべきでは

国の制度により実施

問 震災対応の就学援助は令和2年度までのようだが、当町は震災で甚大な被害を受けたため自立再建後も経済的に困難な世帯が多く見受けられる。特に子育て世帯においては、教育費が家計に重くのしかかってくるので多方面からの負担軽減

策が必要となってくる。復興庁も延長される。震災対応の就学援助も延長すべきでは。

佐々木教育長 国の制度に基づき実施している。同制度が延長されない限り、町単独での実施は考えていない。

し、仮設住宅の電化製品はリースでなく給付すべきと申し入れたが。

町長 支援策の引っ越し費用は、実際に掛かった経費に対しての補助であり、根拠となる領収書等の提出が必要となる。仮設住宅の電化製品は、在宅避難世帯との公平性の観点から給付でなく備品

として設置した。

問 長内川の氾濫について「木工沈床との因果関係を検証すべき」と問うたが、専門的に検証されたか。

町長 内部の調査・検証の結果、直接的な氾濫の要因は木工沈床ではなく、記録的な豪雨と土石流によるもの。



改良整備案が示された田の浜地区防災緑地公園

台風19号

田の浜地区の復旧予定は

住民の意見を聞いて早期復旧



黒 沢 一 成 議 員
(無 所 属)

問 田の浜地区の復旧について今後の予定は。

佐藤町長 検証結果について元年度内に住民説明会を開催して説明するとともに、住民からの意見を聞いて復旧方針を早期決定したい。

問 潮風トレイルで通行不可となっている区間の復旧時期は。

町長 本町のルートは8カ所が損壊した。令和2、3年度で復旧を見込んでいる。損壊した箇所にはすべて迂回路が設定されており、ルート上に案内看板を設置し利用者にお知らせしている。

問 オートキャンプ場の復旧は。また、ケビンハウスは利用できるか。

町長 オートキャンプ場については、県管理の家

一般質問

族旅行村の再整備の動向を踏まえて、整備方針を決めたい。ケビンハウスは利用を再開している。



確実な排水対策が求められます
(台風19号時は土手を削って排水)

その他の質問

- ◆ まちなか循環バスの停留所、料金等は震災で沈下した地盤の隆起の影響は
- ◆ 町中国道脇に広報用電光看板の設置を
- ◆ 下水道接続補助の内容は
- ◆ オランダ島キャンプにシーカヤックの利用を

対象者、情報提供は閲覧で

大臣からの要請で名簿提出

問 元年度、町内の高校卒業期の名簿を防衛省に提供しようだが、法的根拠がないとして、6割の自治体が拒否したとの報道もある。個人情報保護も踏まえ、閲覧に戻すべきでは。

町長 自衛官募集のために必要な「募集対象者情報」の提供は、昨年度までに必要で、防衛大臣から提供要請があり、本町でも名簿提出した。

で、自衛隊岩手地方協力本部による住民基本台帳の閲覧申請により行っていた。自衛官募集事務は、地方自治法、自衛隊法および同施行令に基づき県内の8割の市町村が名簿を作成して提出している。今年度、防衛大臣から提供要請があり、本町でも名簿提出した。

展望広場に看板設置を

利用状況等を踏まえて

問 国道脇に整備する展望広場は、どの程度か。また、その広場にジオパーク、潮風トレイル、津波浸水高の看板を設置しては。

町長 跡浜地区の防潮堤の乗越し道路と国道の間を埋め、約740平方メートルの平場を造成し、ベンチや展望デッキを設置する。看板設置は利用状況等を踏まえ検討する。

問 織笠水門とその前後の防潮堤を利用した歩道の設置はできそうか。

町長 水門工事の進捗に合わせて、防潮堤に転落防止柵の設置を進め一般歩行者が利用できるようにする。

農林漁業振興に 新たな考えは

先進技術の導入は 今後の状況を注視



横田 龍 寿 議員
(政 和 会)

問 山田町の農林漁業の振興発展のため、町、JA、JF一丸となって先進技術の導入に積極的に取り組むべきだと考えるがどうか。

佐藤町長 農業分野では「スマート農業」、漁業分野では「スマート水産業」として、情報通信や人工知能等を導入し、作業負担の軽減や省力化による収益性の向上が提言されている。一方で、先進技術の導入は多額の初期費用を要することから、現時点で町主導による積極的な導入は考えていないが、今後の状況を見ながら検討していく。

問 漁業サイドではサケ、アサリの養殖とのことだが、スマート農業に



今後の給食センターの活用に期待

ついてどのように考えているのか。

山口農林課長 スマート農業としては大きなビニールハウスを使った環境制御を想定している。

問 有害鳥獣対策について、ジビエの加工施設を

町単独もしくは宮古地区広域行政組合で整備してはどうか。

町長 鳥獣捕獲数量が少ないこと、施設整備、運用面で多額の費用がかかることなどから現時点で施設整備の考えはない。

給食の町内産食材の増を

前向きに検討を進める

問 学校給食センターの食材について、町内産の食材が含まれる現時点での見込みの割合は。

佐々木教育長 給食本格稼働前であり、現時点で割合の算出はできない。

問 今後、町内産の食材の割合を増やす可能性はあるのか。

教育長 食育の推進から必要であるので、前向きに検討を進めていく。

問 学校給食センターをいわゆる「こども食堂」に活用してはどうか。

箱山教育次長 まずは小中学生に確実に給食を届けることを考えている。

その他の質問

- ◆ 子どもの貧困についての調査把握は
- ◆ 今後の移住定住支援および空き家等の対策は
- ◆ 新型コロナウイルスによる町内事業者が受ける影響は
- ◆ 町民のオリンピック・パラリンピック体験は

サケの種卵確保は

前年同期の61.3%である



菊地 光明 議員
(新 生 会)

問 今年のサケ稚魚の放流時期になってきたが、元年度のサケの種卵確保はどのくらいであるか。また新たな養殖種目の導入について、何の種目を考えているのか。

佐藤町長 サケの種卵確保についてだが、2月20日現在における織笠川ふ化場の採卵数は1634万8000粒で、前年同期の61.3%である。県全体では2億510万5000粒で、前年同期の43.6%にとどまる厳しい状況となっている。新たな養殖種目の導入については、現在、三陸やまだ漁協で試験養殖を行っているアサリの本格導入に向けた取り組みを進め

ていくほか、県内で始まった魚類養殖の実証試験の状況を見ながら、漁協や関係機関と連携し、トラウトサーモンやギンザケなどの魚類養殖の導入の可能性について検討していきたいと考えている。

意見 種卵問題については町長と水産商工課のリーダーシップをお願いするしかないので頑張ってください。

鈴木善幸記念館は

問 鈴木善幸元総理大臣を顕彰する文庫を震災のため凍結してから8年になるが、今回の公共施設利活用検討委員会での検討に加え、早急に整備する考えはないか。

町長 鈴木善幸記念館については、新たな施設整備の考えは持っていない。

2年度中に結論を

が、既存施設を活用した設置の可能性について、「公共施設等総合管理計画推進委員会」で検討を進めるとともに、関係者の意見等も参考としながら、令和2年度中には結論を出したいと考えている。

展望広場の整備は

跡浜地区に計画

を眺める場所が少なくなったことから整備するもので、跡浜地区の防潮

堤の乗越し道路と国道の間を埋めて、約740平方メートルの平場を造成し、ベンチや展望デッキを設置する計画としている。



展望広場整備予定地から見る山田湾

その他の質問

- ◆給食センターの配送方法は
- ◆埋蔵文化財収蔵庫の設置場所は
- ◆文化財審議委員会の役割は

総務教育常任委員会

調べて▼▼▼動く

町政に対する要望と町からの回答

4月から学校再編により、小学校3校、中学校1校となりました。また、あわせて念願の学校給食も始まりました。そこで委員会では、2月26日に「学校給食」と「統合後の通学路」について所管事務調査を行いました。学校教育課に聞き取りを行い、まとめ、町政へ要望書を提出しました。その要望と町からの回答をお知らせします。

努めていただきたい。

回答 学校給食センターが令和2年4月から本格稼働することに伴い、児童生徒が安全に安心して食べられるよう、衛生面に注意しながら、給食の提供に努めてまいります。

要望 給食費の納付については、適正な徴収を行い、未納対策に努めていただきたい。

回答 給食費の徴収については、口座振替による適正な納付がなされるよう依頼するとともに、未納が発生した場合は、未納のお知らせと納付のお願いを実施しながら、未納が発生しないよう努めてまいります。

要望 通学路においては関係課と連携し、7分団屯所付近や北浜の海太郎付近交差点への信号機設置ならびに暗い箇所への街灯設置で児童生徒の安全を守るよう対処していただきたい。

回答 通学路については、児童生徒が安全に通学できるよう関係課と連携しながら、引き続き協議してまいります。

議してまいります。

要望 学校統合に伴い、スクールバス通学の柔軟な支援に努めていただきたい。

回答 スクールバス通学については、学校までの通学距離が3キロメートル以上の児童生徒を基本として運行することになります。児童生徒の通学環境を見ながら、必要に応じて柔軟に対応できるように努めてまいります。

要望 学校給食については、衛生面に注意し、安全で安心な給食の提供に

回答 給食費の徴収については、口座振替による適正な納付がなされるよう依頼するとともに、未

回答 通学路については、児童生徒が安全に通学できるよう関係課と連携しながら、引き続き協

議してまいります。

常任委員会の所管事務継続調査

総務教育 常任委員会

総務教育常任委員会と産業建設民生常任委員会では、閉会中の継続調査を行います。

- (1) 防災対策について
- (2) 学校の通学路に関することについて
- (3) 地域公共交通について

産業建設民生 常任委員会

- (1) 商工観光の振興について
- (2) 水産業の振興について
- (3) 東日本大震災被害からの復旧復興について
- (4) 令和元年台風19号被害からの復旧復興について

表紙の写真を募集しています

あなたの写真で議会だよりの表紙を飾りませんか？

◆募集写真のテーマ

子どもや家族の写真、地域等での行事、町内の好きな風景など

◆写真の規格

カラーの縦写真(合成や組写真は不可)jpeg形式(2~4メガバイト程度)、撮影者自身に著作権があり、未発表のもの

◆応募方法

必要事項を記入した応募用紙と応募写真をメールで送っていただくか、CD、DVDに保存して次の宛先まで持参または郵送してください。

◆宛先

メール：gikaijimu@town.yamada.iwate.jp
住所：〒028-1392 山田町八幡町3番20号 山田町議会事務局

◆締切

第168号掲載分は6月19日(金)とします。
その後も随時募集します。

その他、詳細事項は町ホームページに掲載していますのでごらんください。
※応募用紙も町ホームページに掲載しています。

みんなの「声」

Vol. 11

町民の皆さまからの町への提言、思いなどを紹介します。
表紙（1ページ）に登場いただいた家族にお話を聞きました。

柳沢地区在住の甲斐谷さん家族
陽平さん 陽泰（はるか）ちゃん（3歳・長女）
ますみさん 千陽（ちはる）ちゃん（1歳・次女）

山田の特色を生かした観光事業を！

町の好きなところは人が優しく自然が豊かで海の幸、山の幸がおいしいところ。

町に期待することは災害に強い町づくりをしてほしい。新たな道の駅ができるので、山田の特色を生かした観光事業をしてほしい。

子どもたちへの将来の希望は明るく元気に育ってほしい。

傍聴席からひとこと

富士 永輝さん

第1回定例会を傍聴させていただきました。

町行政に疎い私にとって議会を傍聴することは、とても新鮮な驚きに満ちた体験でした。議会の様子は広報や人づてに聞いていましたが、実際に

見るのと活字化されたのを読むのでは熱気の度合いが全然違います。2日で8人の議員が質問しました。台風19号被害からの復旧、サケの不漁対策、交通網の整備などについての質問が多かったようです。また、全く私の知らない問題も取り上げられていました。東日本大震災で沈下した地盤が隆起していること。高

齢者の総人口が38・2%で5人に2人が高齢者であること。台風19号の被害が200カ所もあること。小学校の新校舎を建設予定であることなどです。途中、質疑が白熱する場面もあり、緊張感をもって傍聴しました。

議会は私たちの身近な要望が議員を通して実現される場でもあります。そしてこの熱意があれば山田町はよりよい方向に進むものと思います。それにしても議会はいろいろな情報に接することができ、場でもあります。多くの方々が傍聴されることを望みます。

次の定例会は、6月9日から6月12日に開催する予定です。傍聴の手続きは、傍聴人受付票に住所、氏名を記入するだけの簡単なものです。お気軽にお越しください。

No. 53

あとかき

▼昨年9月の改選により初めて議会広報編集特別委員となりました。身の引き締まる思いであります。▼さて東日本大震災から9年が過ぎました。9年間、私はボランティア活動として行方不明者の捜索や瓦礫撤去、町内の清掃活動を行ってきました。町を見渡すと、各地区で復旧復興が日々進み、町並みも整備され、きれいな町になってきたと感じております。本町のシンボルでもあるオランダ島の整備も進み、体験観光の拠点として利用できるようになっています。また子どもたちが海童丸に乗船し山田湾で養殖などの勉強や体験ができるようになります。町は今後も発展してまいります。一方で課題もあります。課題の解決に向け議員の皆さんと頑張ってまいります。（阿部吉衛）

発行責任者

議長 昆 暉 雄

議会広報編集特別委員会

委員長 菊 地 光 明
副委員長 阿 部 吉 衛
委員 豊 間 根 幸 一
阿 部 幸 一

阿 部 幸 一